砂糖類の国内需給

調査情報部

1. 需給見通し

農林水産省は、「砂糖及びでん粉の価格調整に関する法律」（昭和40年法律第109号）により、四半期ごとに砂糖および異性化糖の需給見通しを公表している。令和４年12月に「令和４砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第２回）」を公表した（詳細は2023年２月号参照）。

令和４砂糖年度（10月～翌9月）の見通し

【砂糖】

総消費量：178万4000トン（前年度比0.2%増）

総供給量：176万7000トン（同0.9%増）

【加糖調製品】

消費量および供給量：45万3000トン（前年度同）

【異性化糖】

消費量および供給量：77万5000トン（前年度比2.0%増）

表１　令和４砂糖年度における砂糖の需給見通し

（単位：千トン）

			令和３砂糖年度（実績）	令和４砂糖年度				
				10月－12月	1月－3月	4月－6月	7月－9月	合　計
消費量	分みつ糖		1,746	460.6	407.5	441.8	440.1	1,750
	含みつ糖		34	7.0	11.3	8.8	7.4	34
	合　計		1,780	467.6	418.8	450.6	447.5	1,784
供給量	国内産糖	分みつ糖	783	358.2	328.8	11.9	－	699
		含みつ糖	9	1.2	7.0	1.1	－	9
		小計	792	359.4	335.8	13.0	－	708
	輸入糖	分みつ糖	953	292.8	153.0	316.5	288.6	1,051
		含みつ糖	7	1.6	3.1	1.9	0.9	7
		小計	960	294.4	156.2	318.4	289.4	1,058
	合計	分みつ糖	1,736	651.0	481.8	328.4	288.6	1,750
		含みつ糖	16	2.8	10.1	3.0	0.9	17
		小計	1,752	653.8	492.0	331.4	289.4	1,767
期末在庫			377	549.8	622.9	503.8	345.7	346

資料：農林水産省「令和４砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第２回）」
注１：分みつ糖は精糖ベースの数量、含みつ糖は製品ベースの数量である。
注２：輸入糖の分みつ糖供給量は、機構売買数量である。

表２　令和４砂糖年度における加糖調製品の需給見通し

（単位：千トン）

	令和３砂糖年度（実績）	令和４砂糖年度				
		10月－12月	1月－3月	4月－6月	7月－9月	合　計
消費量	453	107.2	111.4	119.5	115.0	453
供給量	453	107.2	111.4	119.5	115.0	453

資料：農林水産省「令和４砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第２回）」
注１：改正糖価調整法（平成30年施行）に基づき調整金の対象とされた加糖調製品を対象としている。
注２：消費量は対象となる加糖調製品の輸入量（財務省貿易統計より算出）を踏まえて見通しており、供給量は消費量に見合った量が供給されるものとして見通している。
注３：令和４砂糖年度の消費量は、令和３砂糖年度の輸入実績を踏まえて見通している。

表３　令和４砂糖年度における異性化糖の需給見通し

（単位：千トン）

	令和３砂糖年度（実績）	令和４砂糖年度				
		10月－12月	1月－3月	4月－6月	7月－9月	合　計
消費量	760	166.5	171.1	227.2	210.3	775
供給量	760	166.5	171.1	227.2	210.3	775

資料：農林水産省「令和４砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第２回）」
注：標準異性化糖（果糖55%ものの固形ベース）に換算した数量である。

２．輸入動向

【粗糖の輸入動向】

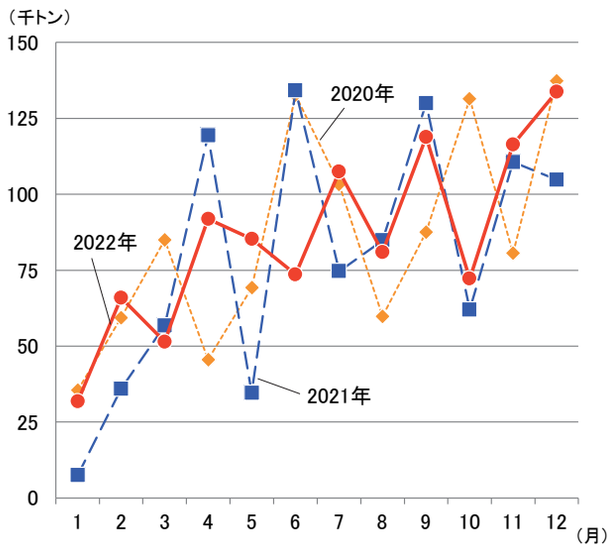
12月の輸入量は前年同月から大幅に増加

財務省「貿易統計」によると、2022年12月の甘しゃ糖・分みつ糖（HSコード 1701.14-110）および甘しゃ糖・その他（同1701.14-200の豪州）の輸入量は、13万3784トン（前年同月比27.7%増、前月比14.9%増）であった（図１）。

輸入先は甘しゃ糖・分みつ糖については輸入実績が無く、甘しゃ糖・その他については豪州で、輸入量は次の通りであった（図２）。

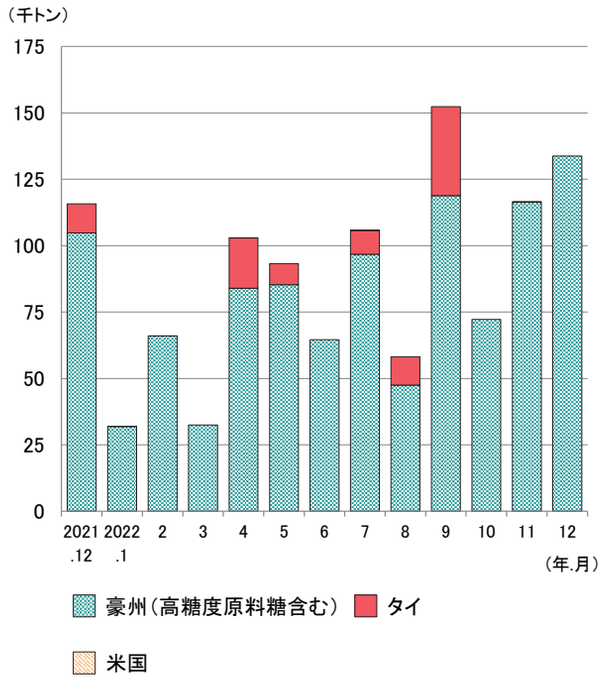
豪州　　13万3784トン
（前年同月比27.7%増、前月比14.9%増）

図１　粗糖の輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.14-110、1701.14-200（豪州のみ）

図２　粗糖の国・地域別輸入量の推移



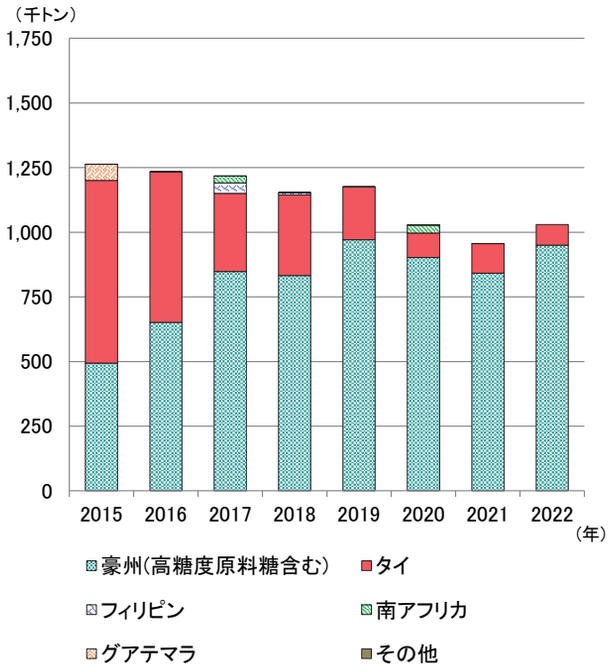
資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.14-110、1701.14-200（豪州のみ）

また、2022年１～12月の甘しゃ糖・分みつ糖および甘しゃ糖・その他の輸入量は、102万9743トン（前年比7.8%増）であった（図３）。

輸入先国は豪州、タイおよび米国の３カ国で、国・地域別の輸入量は次の通りであった。

豪州　　94万9614トン
（前年比12.9%増）
タイ　　8万72トン
（同29.9%減）
米国　　57トン
（同8.1%減）

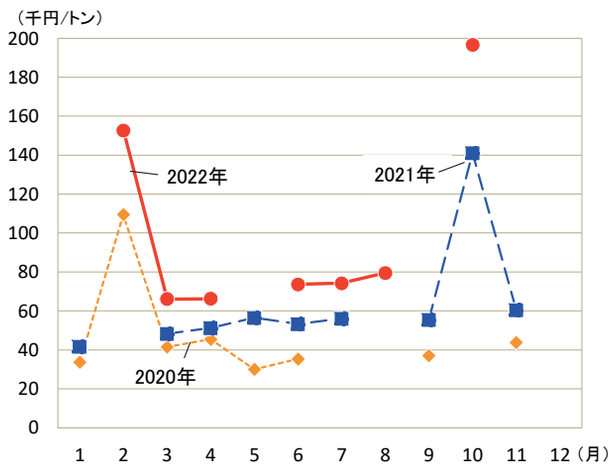
図３　粗糖の年別国・地域別輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.14-110、1701.14-200（豪州のみ）

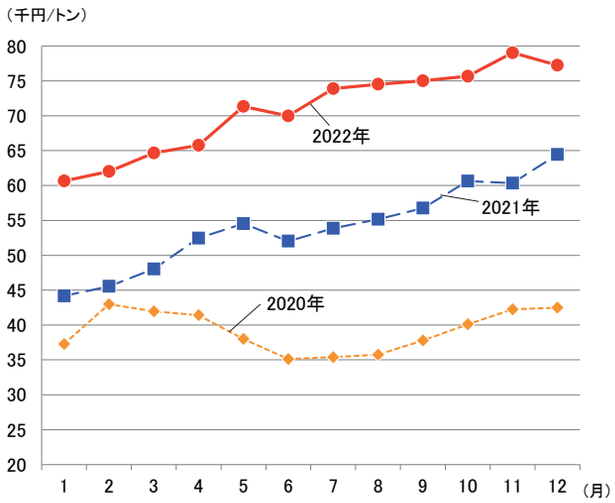
2022年12月の甘しゃ糖・その他の豪州からの高糖度原料糖の1トン当たりの輸入価格は、７万7240円（前年同月比19.8%高、前月比2.3%安）であった（図５）。

図４　粗糖（HSコード1701.14-110）の輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：2020年７月、８月、10月、12月、2021年２月、８月、12月、2022年１月、５月、９月、11月および12月は輸入実績なし。

図５　高糖度原料糖（HSコード1701.14-200の豪州）の輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」

【含みつ糖の輸入動向】

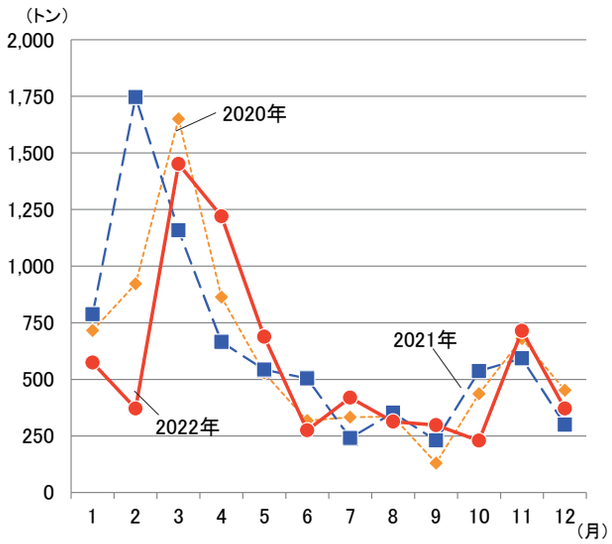
12月の輸入量は前年同月から大幅に増加

財務省「貿易統計」によると、2022年12月の含みつ糖（HSコード 1701.13-000、1701.14-190）の輸入量は、371トン（前年同月比24.1%増、前月比48.0%減）であった（図６）。

輸入先は中国、ボリビア、ブラジル、フィリピン、モーリシャスおよびインドで、国・地域別の輸入量は次の通りであった（図７）。

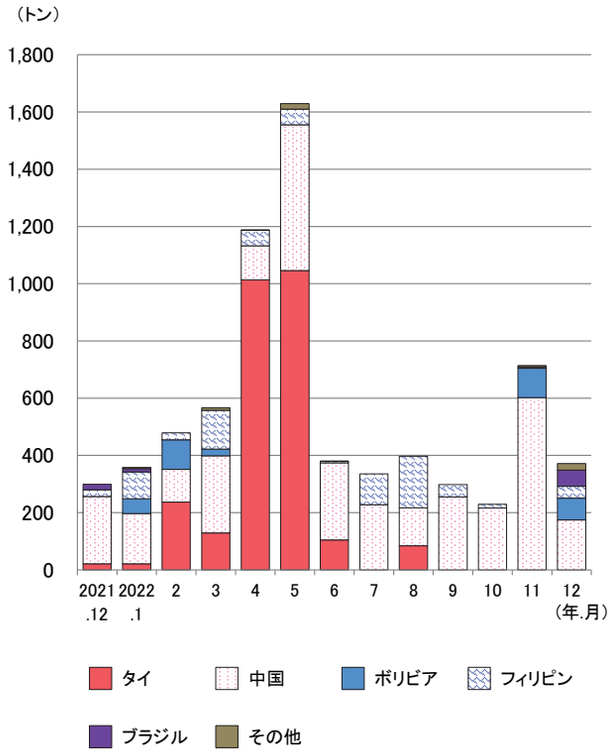
中国　174トン
（前年同月比26.0%減、前月比71.1%減）
ボリビア　76トン
（前年同月輸入実績なし、同26.2%減）
ブラジル　57トン
（前年同月比3.0倍、前月輸入実績なし）
フィリピン　42トン
（同75.0%増、前月比10.5倍）
モーリシャス　20トン
（前年同月および前月輸入実績なし）
インド　２トン
（前年同月および前月輸入実績なし）

図６　含みつ糖の輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」
　注：HSコード1701.13-000、1701.14-190

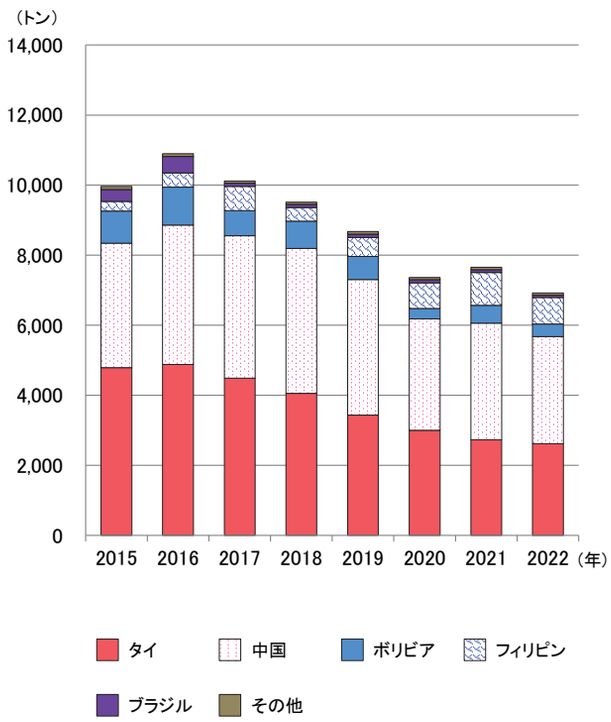
図７　含みつ糖の国・地域別輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」
　注：HSコード1701.13-000、1701.14-190

また、2022年１～12月の含みつ糖の輸入量は、6923トン（前年比9.6%減）であった（図８）。

図８　含みつ糖の年別国・地域別輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」
　注：HSコード1701.13-000、1701.14-190

輸入先は中国、タイ、フィリピン、ボリビアおよびブラジルなど９カ国で、国・地域別の輸入量は次の通りであった。

中国	3063トン
（前年比8.0%減）	
タイ	2615トン
（同4.1%減）	
フィリピン	757トン
（同19.5%減）	
ボリビア	357トン
（同29.9%減）	
ブラジル	69トン
（同9.2%減）	
モーリシャス	20トン
（前年同）	
コスタリカ	19トン
（前年比52.5%減）	
インド	18トン
（同2.0倍）	

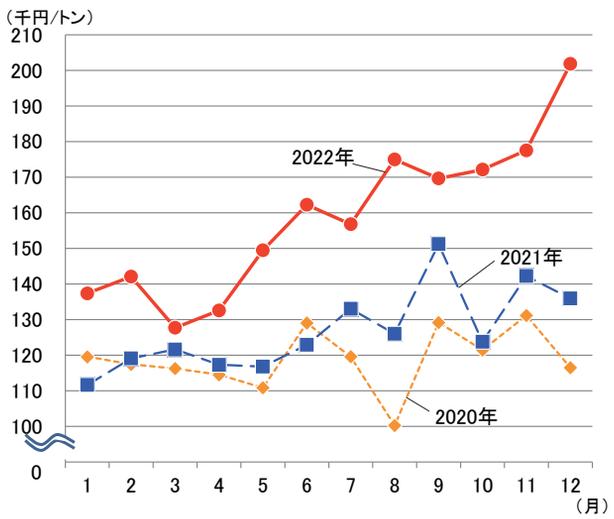
ペルー　　５トン
（前年輸入実績なし）

2022年12月の１トン当たりの輸入価格は、20万1822円（前年同月比48.5%高、前月比13.7%高）であった（図９）。

国・地域別の１トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

中国　　16万1431円
（前年同月比34.6%高、前月比7.3%安）
ボリビア　　19万3487円
（前年同月輸入実績なし、同4.3%高）
ブラジル　　27万8772円
（前年同月比16.3%高、前月輸入実績なし）
フィリピン　　30万1976円
（同30.6%高、前月比21.1%安）
モーリシャス　　15万1800円
（前年同月および前月輸入実績なし）
インド　　23万6500円
（前年同月および前月輸入実績なし）

図９　含みつ糖の輸入価格の推移



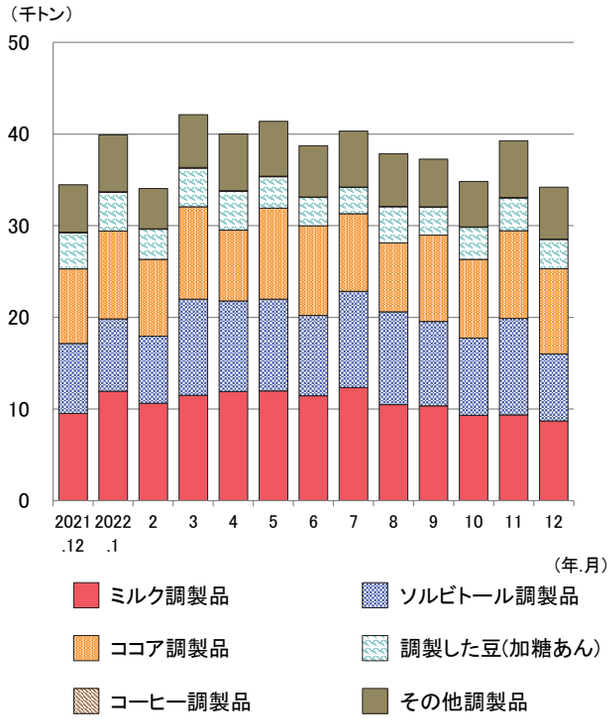
資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.13-000、1701.14-190

【加糖調製品の輸入動向】
12月の加糖調製品の輸入量は前年同月からわずかに減少

財務省「貿易統計」によると、2022年12月の加糖調製品の輸入量は、３万4189トン（前年同月比0.8%減、前月比12.9%減）であった（図10）。

品目別の輸入量は、表４の通りであった。

図10　加糖調製品の品目別輸入数量の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：各品目のHSコードは、次の通り。
ココア調製品：1806.10-110、1806.10-190、1806.20-112、1806.20-113、1806.20-121、1806.20-129、1806.32-212、1806.32-213、1806.90-212、1806.90-213
コーヒー調製品：2101.11-110、2101.11-190、2101.12-111、2101.12-112、2101.12-246
調製した豆（加糖あん）：2005.40-191、2005.40-199、2005.51-191、2005.51-199
ミルク調製品：1901.90-219、2106.90-283、2106.90-284
ソルビトール調製品：2106.90-510
その他調製品：2008.99-218、2106.90-590、2101.20-246、2106.90-252、2106.90-253、2106.90-281、2106.90-282、2106.10-219

表４　加糖調製品　品目別輸入量（12月）

（単位：トン）

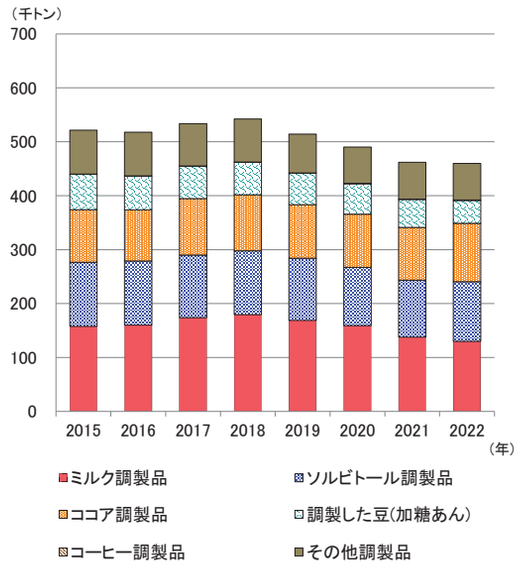
区分	輸入量	前年同月比（増減比）	前月比（増減比）
ミルク調製品	8,699	▲ 8.8%	93.0%
ソルビトール調製品	7,313	▲ 3.9%	▲ 30.4%
ココア調製品	9,300	14.1%	▲ 3.1%
調製した豆（加糖あん）	3,181	▲ 18.7%	89.5%
コーヒー調製品	60	▲ 29.6%	▲ 13.7%
その他調製品	5,637	9.0%	▲ 8.8%
合計	34,189	▲ 0.8%	▲ 12.9%

資料：財務省「貿易統計」
注：端数処理の関係で計と内訳が一致しない場合がある。

また、2022年１～12月の加糖調製品の輸入量は、45万9921トン（前年比0.4%減）となった（図11）。

品目別の輸入量は、表５の通りであった。

図11　加糖調製品の年別品目別輸入数量の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：各品目のHSコードは、次の通り。
【2018年12月まで】
ココア調製品：1806.10-100、1806.20-111、1806.20-190、1806.32-211、1806.90-211
コーヒー調製品：2101.11-100、2101.12-110、2101.12-246
調製した豆（加糖あん）：2005.40-190、2005.51-190
ミルク調製品：1901.90-219、2106.90-283、2106.90-284
ソルビトール調製品：2106.90-510
その他調製品：2101.20-246、2106.10-219、2106.90-251、2106.90-281、2106.90-282、2106.90-590
【2019年1月から】
ココア調製品：1806.10-110、1806.10-190、1806.20-112、1806.20-113、1806.20-121、1806.20-129、1806.32-212、1806.32-213、1806.90-212、1806.90-213
コーヒー調製品：2101.11-110、2101.11-190、2101.12-111、2101.12-112、2101.12-246
調製した豆（加糖あん）：2005.40-191、2005.40-199、2005.51-191、2005.51-199
ミルク調製品：1901.90-219、2106.90-283、2106.90-284
ソルビトール調製品：2106.90-510
その他調製品：2008.99-218、2101.20-246、2106.10-219、2106.90-252、2106.90-253、2106.90-281、2106.90-282、2106.90-590

表５　加糖調製品　品目別輸入量（2022年）

区分	輸入量（トン）	前月比（増減比）
ミルク調製品	129,887	▲ 5.6%
ソルビトール調製品	110,521	4.6%
ココア調製品	108,346	10.7%
調製した豆（加糖あん）	42,536	▲ 17.7%
コーヒー調製品	717	▲ 14.3%
その他調製品	67,913	▲ 0.5%
合計	459,921	▲ 0.4%

資料：財務省「貿易統計」
注：端数処理の関係で計と内訳が一致しない場合がある。

３．異性化糖の移出動向

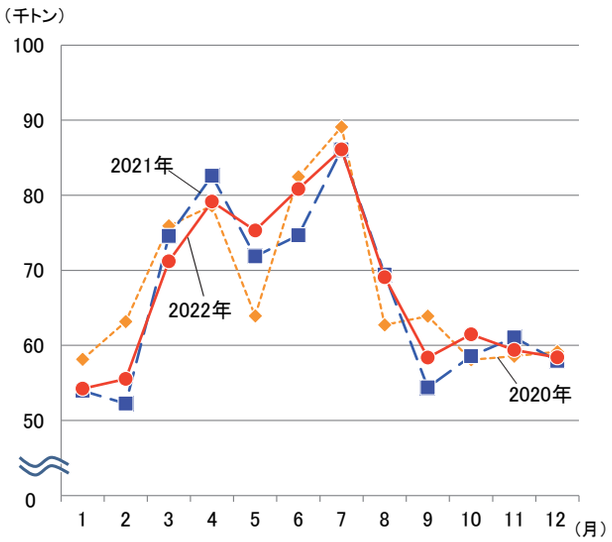
1月の移出量は前年同月からわずかに増加

2023年１月の異性化糖の移出量は、５万4798トン（前年同月比1.0%増、前月比6.2%減）であった（図12）。

同月の規格別の移出量は、次の通りであった（図13）。

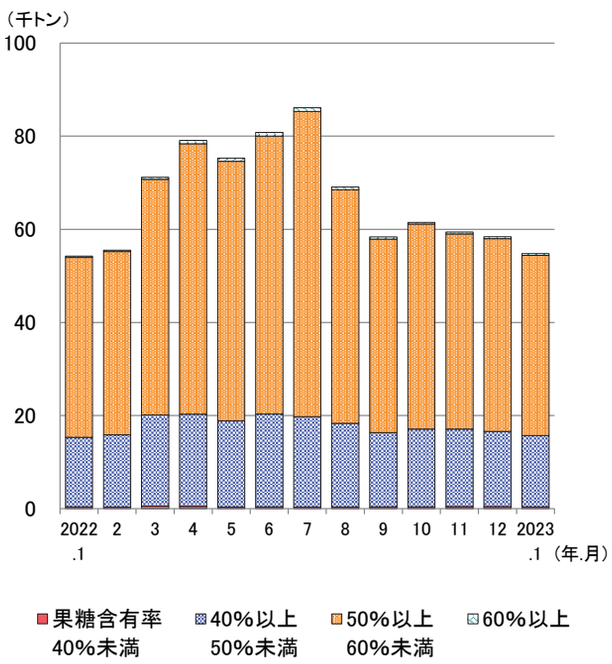
果糖含有率40%未満　386トン
（前年同月比8.3%増、前月比13.3%減）
同40%以上50%未満　１万5296トン
（同2.3%増、同5.2%減）
同50%以上60%未満　３万8727トン
（同0.2%増、同6.5%減）
同60%以上　389トン
（同40.8%増、同1.3%減）

図12　異性化糖の移出量の推移



資料：農畜産業振興機構調べ

図13　異性化糖の種類別移出量の推移



資料：農畜産業振興機構調べ

4．価格動向

【市場価格】

異性化糖は前月前半から20円程度値上がり

１月の糖種別･地域別の砂糖価格（日経相場）は、次の通りであった。

上白糖（大袋）

東京　　１キログラム当たり216～217円
大阪　　同216～217円
名古屋　　同220円
関門　　同220円

上白糖（小袋）

東京　　１キログラム当たり229～230円
大阪　　同231円

本グラニュー糖（大袋）

東京　　１キログラム当たり221～222円
大阪　　同221～222円
名古屋　　同225円

ビート・グラニュー糖（大袋）

東京　　１キログラム当たり216～217円
大阪　　同216～217円
名古屋　　同218円

１月の異性化糖の価格（日経相場、大口需要家向け価格、東京、タンクローリーもの、JAS規格品、水分25%）は、次の通りであった。

果糖分42%もの
　　１キログラム当たり166～167円
果糖分55%もの　　同172～173円

【小売価格】

１月の上白糖小袋の地域間の価格差は最大で39.8円

マーチャンダイジング・オンRDSPOS（全国1243店舗）によると、スーパーにおける１月の上白糖小袋（１キログラム）の平均小売価格は、230.0円（前年同月差25.2円高、前月差4.3円高）であった。最も高かったのは東北で、最も安かった関西との価格差は39.8円であった。

同月の地域別(注)の平均小売価格は、次の通りであった（表６）。

（注）地域の内訳は、次の通りである（以下同じ）。
関東など：茨城県、栃木県、群馬県、長野県、山梨県、静岡県
首都圏：東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県
中　部：新潟県、富山県、石川県、福井県、岐阜県、三重県、愛知県
関　西：大阪府、兵庫県、京都府、滋賀県、和歌山県、奈良県

表６　上白糖の地域別平均小売価格（１月）

（単位：円/kg）

地域	平均価格	前年同月価格差	前月価格差
北海道	233.5	11.4	0.4
東北	245.2	40.0	20.8
関東など	225.3	25.2	5.7
首都圏	211.3	19.2	0.9
中部	222.7	23.6	7.5
関西	205.4	5.0	▲ 0.2
中国・四国	238.9	30.5	2.7
九州・沖縄	242.0	32.0	3.6
全平均	230.0	25.2	4.3

資料：農畜産業振興機構調べ（原典：マーチャンダイジング・オンRDSPOS〈全国1243店舗〉）
注１：価格は、消費税抜きの価格である。
注２：平均価格は、店舗別商品別の最高価格の単純平均である。
注３：前年同月価格差および前月価格差は、マーチャンダイジング・オンRDSPOSデータ内における価格差である。

１月のグラニュー糖小袋の地域間の価格差は最大で71.2円

マーチャンダイジング・オンRDSPOS（全国1243店舗）によると、スーパーにおける１月のグラニュー糖小袋（１キログラム）の平均小売価格は、271.8円（前年同月差18.2円高、前月差1.3円高）であった。最も高かったのは関東などで、最も安かった北海道との価格差は71.2円であった。

同月の地域別の平均小売価格は、次の通りであった（表７）。

表７　グラニュー糖の地域別平均小売価格（１月）

（単位：円/kg）

地域	平均価格	前年同月価格差	前月価格差
北海道	231.8	15.8	3.5
東北	302.6	6.7	4.0
関東など	303.0	18.3	▲ 1.8
首都圏	269.5	6.3	6.7
中部	273.4	25.8	3.5
関西	256.6	9.8	0.3
中国・四国	262.3	17.4	0.2
九州・沖縄	270.6	25.9	1.2
全平均	271.8	18.2	1.3

資料：農畜産業振興機構調べ（原典：マーチャンダイジング・オンRDSPOS〈全国1243店舗〉）
注１：価格は、消費税抜きの価格である。
注２：平均価格は、店舗別商品別の最高価格の単純平均である。
注３：前年同月価格差および前月価格差は、マーチャンダイジング・オンRDSPOSデータ内における価格差である。

１月の三温糖小袋の地域間の価格差は最大で51.8円

マーチャンダイジング・オンRDSPOS（全国1243店舗）によると、スーパーにおける１月の三温糖小袋（１キログラム）の平均小売価格は、260.8円（前年同月差20.2円高、前月差4.1円高）であった。最も高かったのは北海道で、最も安かった首都圏との価格差は51.8円であった。

同月の地域別の平均小売価格は、次の通りであった（表８）。

表８　三温糖の地域別平均小売価格（１月）

（単位：円/kg）

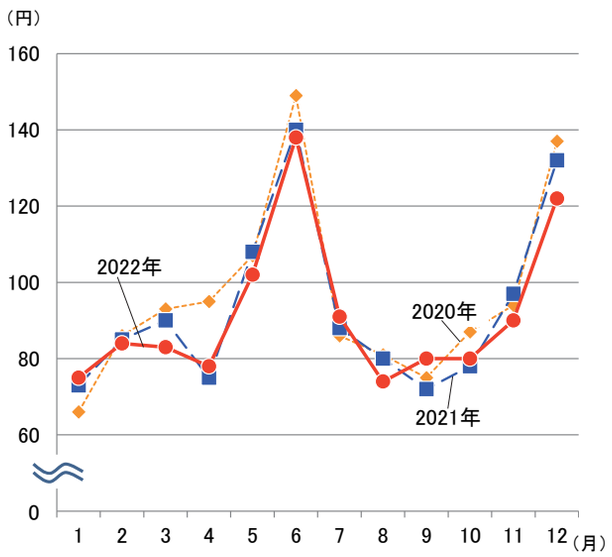
地域	平均価格	前年同月価格差	前月価格差
北海道	295.5	30.7	6.7
東北	272.0	19.7	5.4
関東など	248.9	14.1	6.5
首都圏	243.7	10.5	0.1
中部	265.9	23.3	7.0
関西	250.4	3.7	4.2
中国・四国	269.4	24.0	2.1
九州・沖縄	259.2	30.4	4.3
全平均	260.8	20.2	4.1

資料：農畜産業振興機構調べ（原典：マーチャンダイジング・オンRDSPOS〈全国1243店舗〉）
注１：価格は、消費税抜きの価格である。
注２：平均価格は、店舗別商品別の最高価格の単純平均である。
注３：前年同月価格差および前月価格差は、マーチャンダイジング・オンRDSPOSデータ内における価格差である。

【支出金額および購入数量】
12月の砂糖の支出金額は前年同月からかなりの程度下落

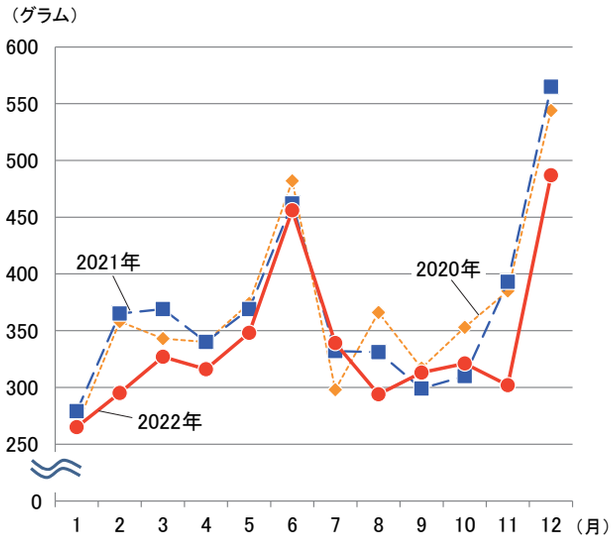
総務省「家計調査」によると、2022年12月における100世帯当たりの砂糖の購入頻度は46、1世帯（二人以上）当たりの支出金額は122円（前年同月比7.6%安、前月比35.6%高）であった（図14）。また、同月の１世帯当たりの砂糖の購入数量は、487グラム（同13.8%減、同61.3%増）であった（図15）。

図14　１世帯当たりの砂糖に係る支出金額の推移



資料：総務省「家計調査」

図15　１世帯当たりの砂糖の購入数量の推移



資料：総務省「家計調査」